

第390回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和7年12月23日

閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会におきましては、11月25日の開会以来、29日間にわたり、青山7丁目において進めている団地再生事業の核となる新たな多世代交流施設を設置するための条例制定や各会計補正予算など多数の重要案件について、ご審議をいただきました。

この間、議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされましたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

本日追加提案し、議決をいただいた補正予算において、国の重点支援地方交付金を活用し、「物価高対応子育て応援手当」として、児童手当の受給対象である0歳から18歳までの子ども1人につき2万円の支給及び市立小・中・特別支援学校の3学期分

の給食費の半額助成を行います。これにより、物価高騰による子育て世帯の家計への負担を軽減します。また、重点支援地方交付金を活用したさらなる市民や事業者に対する支援策を早急にまとめます。市民や事業者に必要な支援が届くよう検討してまいります。

さて、今月8日に、青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、八戸市で震度6強が観測されました。この地震により、被害を受けた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。地震はいつどこで発生するか予測が難しく、私たちの大切な命や財産を守るために、一人ひとりが日頃から備えを行うことが不可欠です。避難場所及び避難経路の確認や、非常用持出袋の準備など、今一度災害への備えをご確認いただきますようお願いします。市においても、避難生活の環境改善を図るため、今年度は自走式水洗トイレカーの取得や災害時協力井戸の登録を進めており、市民生活を守る体制をしっかりと整備してまいります。

また、教育に関する取組も引き続き進めてまいります。このたび、全国アワード「Performance Learning

Award 2025」において、三木市の「オンライン学習システムを活用した教員研修プログラム」が「パフォーマンス ラーニング デザイン賞」を受賞しました。このアワードは、学習を成果に結びつけた全国の取組を表彰するもので、三木市の取組がJALやヤマト運輸、明治安田生命などの民間企業と並び、高く評価されました。オンライン研修でコストを削減しつつ、教員同士が深く学び合う仕組みを設計した点が評価されたもので、三木市の教育DXの推進が全国トップレベルであることを示すものです。今後も、本市の教育水準の向上をめざすとともに、研修の効率化による教員の働き方改革を進め、子どもと向き合う時間を確保するなど、教員が本来の業務により注力できる環境を整備してまいります。

さらに、教育委員会において、教育DXの推進に向け、文部科学省や他自治体で教育DXのアドバイザーとして活躍されている坂本良晶（さかもと よしあき）氏が、三木市教育DX推進アドバイザーに就任しました。坂本氏の助言を得ながら、教育DXの取組をさらに加速させていきます。

年の瀬もいよいよ押し迫り、本年も余すところあとわずかとなってまいりました。

議員の皆さん、市民の皆さんには、どうか健やかなる新年をご家族お揃いでお迎えになられることをご祈念申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。